

平成21年2月22日
第34回札幌市医師会医学会

五稜会病院

中島公博、佐野 樹、佐野奈津美、日下直文、
富永英俊、古根 高、鈴木健史、坂岡ウメ子、千丈雅徳

民間の単科精神科病院における思春期 入院治療の現状

はじめに

入院治療の対象となる思春期症例は統合失調症等の精神病性疾患にとどまらず、非精神病性の多様な障害がある。多くは不登校、学校での問題、家庭内暴力、対人関係等の悩みである。

今回、単科精神科病院に入院した思春期症例の調査を行い、精神科病院における思春期治療の実態と薬物療法以外の治療プログラムの問題点と今後の課題について検討した。

対 象

平成16-20年度までの
20歳未満の退院者338名。

診断名、入院形態、入院期間、入院病棟、転帰について調査した。

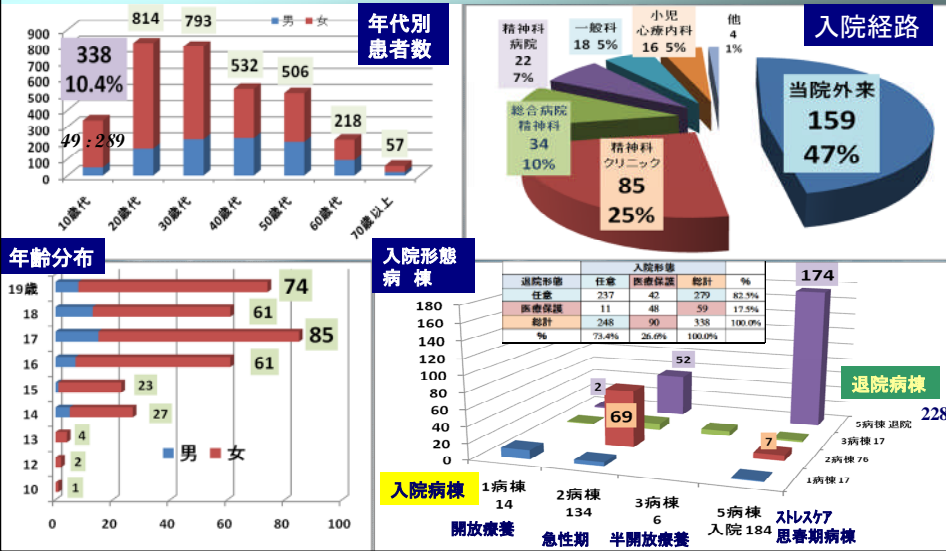
当院の入院適応は原則中学生以降としている。

年度別退院者	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	総計
男	203	188	197	208	185	981
女	459	474	471	426	447	2277
総計	662	662	668	634	632	3258
20歳未満	68	85	69	53	63	338
退院者に占める割合	10.3%	12.8%	10.3%	8.4%	10.0%	10.4%

<http://www.goryokai.com/>

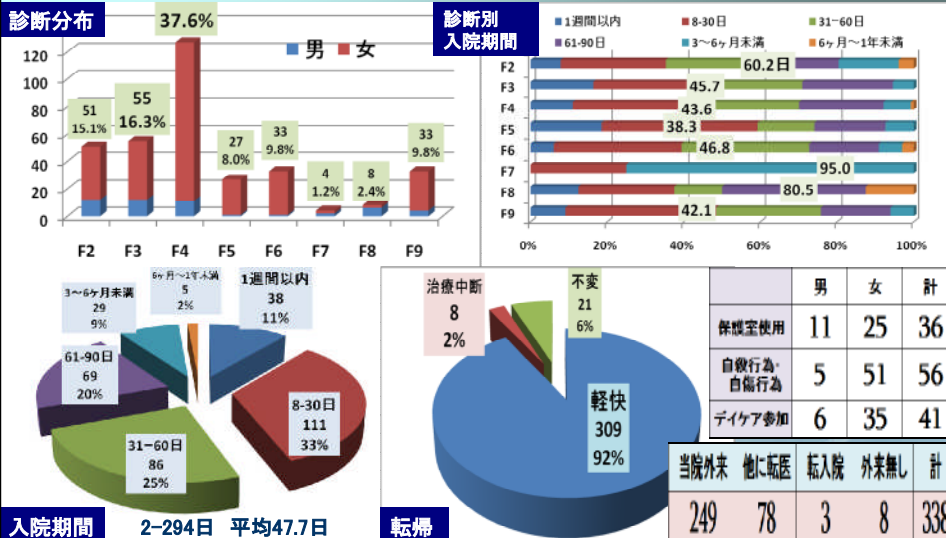
入院治療を行った思春期症例の概要1

- 男女別では49対289と女性が85.5%を占め圧倒的に多い。
- 10歳から15歳までが23名(16.9%)と少なく、16歳～19歳までが8割を占める。
- 入院回数 初回235(69.5%)、2回が3(18.6%)で9割。医療保護入院90名。



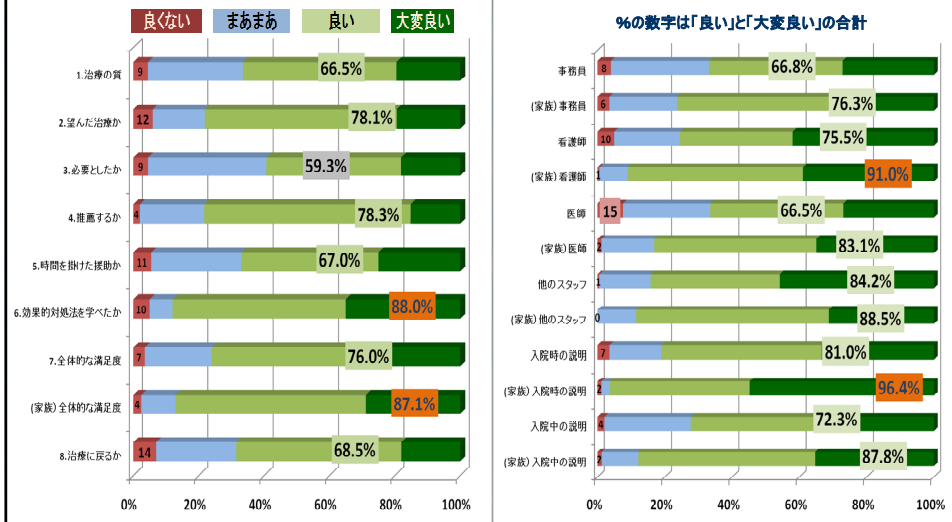
入院治療を行った思春期症例の概要2

- 診断別ではF4が127(37.6%)と最多、次いでF3、F2が2割弱。F8(発達障害)は8名
- 1週間以内に38例、1ヶ月以内で半数弱、2ヶ月で7割、3ヶ月で9割が退院
- 6ヶ月-1年は5例のみ。保護室使用36例、デイケア参加41例、転入院者3例



入院治療の満足度調査

- 退院時満足度調査。患者200(回収率59.2%)家族171(50.6%)。
- 9割が効果的な対処法を学べたと回答。全体的満足度76%であるが、家族の評価は高い。
- 入院時の説明の評価が高い。医師評価は低い、看護師への評価が高い。



五稜会病院での思春期治療

思春期の治療には、対人交流の不得手から対人関係のスキル向上を図る必要がある。思春期を対象としたグループミーティング

10代ミーティング【アネモネ】

- 対象: ストレスケア・思春期病棟に入院中の10代の患者
- 週1回の集団療法。
- 自己表現力を身につけるとともに自己理解を深めるためにワークシートを用いた作業やレクリエーション等を行っている。
- 安心出来る居場所作りには貢献している。
- 実際の問題については浅いレベルの話題共有で終わることが多い。
- 短期入院によりグループに連続性が生まれづらい。

デイケアミニグループ【ティアラ】

- 思春期女性に特化したデイケア
- 対人交流に主眼を置き、対人関係スキルの向上や感情対処を目的としたプログラムが多いのが特徴。
- 緊張や不安が強く集団内に入ることが難しいメンバーが多い。
- 自分に起きていることを言語化できず、リストカット・喫煙などの問題行動を表現するメンバーが多い。
- スタッフのマンツーマンの対応や家族との連携を図っている。

<http://www.goryokai.com/>

考 察

■ 思春期症例の疾患

- 病気そのものの治療よりもライフスキル向上が主目的
- 医療機関に対する期待度とギャップ(本人・家族・学校)
- 家族療法・家族調整、環境調整

■ 10のライフスキル(WHO)

- 自己認識、共感性、効果的コミュニケーションスキル
- 対人関係スキル、意志決定スキル、問題解決スキル
- 創造的思考、批判的思考、感情対処スキル
- ストレス対処スキル

■ 思春期対策

- 札幌市思春期ネットワーク会議
- 日精協思春期精神保健対策専門研修会参加

<http://www.goryokai.com/>

まとめ

- 思春期の入院症例について、その概要を検討した。
- 疾患別では統合失調症、うつ病の精神病圏よりは対人関係の問題に由来した神経症性障害が多い
- 薬物療法のみならず、ライフスキル向上のための支援、心理カウンセリング、家族療法等が重要である。

文 献

- 中島公博:ライフスキルを身につけよう
北海道精神神経学会会報 7-9,2008
- 鈴木由美子:思春期病棟における看護師の役割
「辛抱強く変化のときを待つ」というかわり 精神科看護、2008

<http://www.goryokai.com/>